

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 持続可能な町づくり について</p>	<p>女川町においても新型コロナウイルスの感染拡大で甚大な影響を受けています。東日本大震災からの復興と同様に復興連絡協議会（FRK2）も立ち上がりました。これまで以上に官民が一体となった持続可能な町づくりが求められてきます。</p> <p>（1）Withコロナ時代において環境・経済・社会を、どのように循環させながら町づくりを遂行していくのか。行政としての取組について町長の見解を伺います。</p> <p>（2）新型コロナウイルスの影響が国民の健康と世界経済を揺るがせています。気候変動や異常気象なども含めたリスクが顕在化した中で、持続可能な開発目標SDGsに対する関心が高まっています。本町におけるSDGsに対する考えと取組について伺います。</p> <p>（3）内閣府では自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募しています。本町において「SDGs 未来都市」へ取り組む考えはありますか。</p> <p style="text-align: right;">（質問の相手：町長・担当課長）</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2 子育て・教育振興について</p>	<p>今年の2学期からは女川小中一貫教育学校が開校し、来年度には女川保育所（仮称）が開所予定です。ハード面における教育環境の整備が図られ、「子育てするなら女川」を掲げる本町において、更なる子育て・教育環境の充実が期待されます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済への打撃により、国民全体での所得減少も懸念されています。所得による教育格差を出さないためにも給食費無償化を導入する考えはありますか。</p> <p>(2) 共働き家庭の増加により放課後における児童の居場所づくりが重要になってきます。放課後児童クラブ、放課後こども教室、向学館による放課後学校をどのように展開していきますか。</p> <p>(3) 全国的に地方における人口減少が問題視されています。学校を維持継続させるためにも、児童生徒数の確保は重要です。子育て世代の移住・定住に向けた振興策についてどのように考えますか。</p> <p>(質問の相手：町長・教育長・担当課長)</p>